

# 仙台育英学園高等学校

## 優勝おめでとう 感動をありがとう

夏真っ盛りの8月22日、第104回全国高等学校野球選手権大会で仙台育英学園高等学校が春夏通じて東北勢初の優勝を成し遂げました。

悲願の「白河の関越え」を果たし、県内のみならず、東北中に歓喜と感動の嵐を巻き起こしました。



下関国際高等学校との決勝戦7回裏で、岩崎生弥選手が満塁本塁打を打ち、試合を決定づけました。

提供 朝日新聞社



提供 朝日新聞社



9月5日、仙台育英学園高等学校硬式野球部の選手たちが宮城県庁を訪れました。県は、その功績をたたえ、宮城県知事および宮城県議会議長から、特別表彰を授与しました。



須江監督は「東北中の思いが一体となって今回の結果につながった」とあいさつしました。



佐藤悠斗主将は「温かい人たちに自分たちは支えられていると実感した。東北の皆さんと喜びを分かち合えたことが一番うれしい」と語りました。



選手一人一人に育英カラーで彩られた県産ヒマワリとガーベラ、バラのみやぎオリジナルピクトリーブーケを手渡しました。



問 人事課 ☎022(211)2223

問 保健体育安全課 ☎022(211)3667